

名古屋工業大学
Nagoya Institute of Technology

後援会だより

発行年月日 2025年(令和7年)12月

編集・発行 名古屋工業大学後援会



目次

CONTENTS

・学長あいさつ	1
・後援会会長あいさつ	2
・2025年度後援会役員名簿	2
・2024年度収支決算	3
・2025年度収支予算	4
・後援会による各種支援事業の報告	5
・後援会活動報告	6
・第63回工大祭の報告	7
・2025年度就職・キャリア形成事業	8
・2024年度 進路状況	9
・名古屋工業大学における経済的支援について	10・11
・「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び 「学研災付賠償責任保険（学研賠）」について	11
・名古屋工業大学学生なんでも相談室	11
・後援会会則	12
・学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針	13
・医療援助・見舞金支出基準	13
・名古屋工業大学後援会のご案内	14

〔表紙使用写真団体名〕

S-EV(ソーラーカー部)	アイスホッケー部	空手道部	アメリカンフットボール部
サッカー部	剣道部	陸上競技部	レスキュー・ロボットプロジェクトSAZANKA
柔道部	自動車部	合気道部	ボート部

学長あいさつ

後援会の皆様へ

名古屋工業大学長
小畠 誠

平素より、後援会の皆様には本学の教育・研究活動に対し多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本学は 1905 年に創設された名古屋高等工業学校を前身とし、戦後の 1949 年に新制大学となり発展してまいりました。これまでに約 8 万人の卒業生を社会に送り出し、我が国の産業と東海地域社会の発展に大きく寄与してきました。現在では、学部に 3 つの教育課程と 5 つの学科を整備し、大学院では専攻を統合した学際的な教育を推進するとともに、海外大学との共同学位プログラムも展開しています。



さて、すでにご承知のとおり、本学では 2026 年度入学者から（大学院は 2027 年度から）授業料を改定することを決定いたしました。2005 年度以降据え置いてきた授業料を見直すのは、東海地方の国立大学の中では初めての対応であり、物価・人件費の高騰や教育設備の更新需要に応えるための苦渋の決断です。改定による収入は主に教育環境の改善に充て、工学教育には不可欠の実験・実習設備の充実、生成 AI をはじめとする新しい学修基盤の整備、さらには安心・安全なキャンパス環境の提供に活用してまいります。また、経済的な理由で進学・修学を断念する学生がでることがないよう、独自の修学支援制度を引き続き拡充いたします。

本学は今後も「魅力ある大学」として、受験生や社会から選ばれ続ける存在であるために、教育・研究の質を守り高める努力を惜しみません。そのためにも、後援会の皆様のご理解とご協力は不可欠です。どうか引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会長あいさつ

後援会会員の皆様へ

名古屋工業大学後援会長

有賀 正孝



拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は名古屋工業大学後援会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2025年度後援会定期総会を、7月29日(火)に開催いたしました。前年度決算、本年度予算等議事につきまして資料のとおりご承認を得ましたので、ここにご報告申し上げますとともに、多くの会員の皆様方のご参加にお礼申し上げます。

本後援会は、「名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助すること」を目的に昭和36年に発足し、60年を超える歴史を重ねてまいりました。この間、会員の皆様方から拠出いただきました資金をもとに、学部学生及び院生の課外活動（部活動や工大祭など）や厚生福祉、就職活動への援助、そして学資融資や災害援助時の特別基金の積立など多彩な活動資金として運用させていただきました。それにより、学生たちの勉学や課外活動に多大な成果をあげることができたものと思っております。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物であり、さらには本学教職員の皆様方による熱心なご指導及び充実した教育研究環境の整備の賜物と、敬意を表する次第です。

今後も学生へのより良い支援をめざし、進んでまいりたいと考えておりますので、ご意見等ございましたらお寄せください。皆様からのなお一層のご協力をお願いいたします。

敬具

2025年度 後援会役員名簿

役名	氏名	所属等
会長	有賀 正孝	電気・機械工学科4年
副会長	山川由香梨	情報工学科4年
副会長	仙波 太朗	社会工学科3年
常任幹事	鈴木 直哉	社会工学科4年
//	二橋 真紀	創造工学教育課程3年
//	日原 岳彦	副学長
//	吉田 正男	事務局次長
//	大村 由樹	学生生活課長
幹事	稻垣 大爾	大学院博士前期課程工学専攻生命・物質化学プログラム2年
//	吉澤 寛	大学院博士前期課程工学専攻環境セラミックスプログラム2年
//	蟹江麻実子	大学院博士前期課程工学専攻未来通信プログラム2年
//	佐々木敦仁	大学院博士前期課程工学専攻機械工学プログラム2年
//	掛布 昇英	大学院博士前期課程工学専攻メディア情報プログラム2年
//	田中 有紀	大学院博士前期課程工学専攻創造工学プログラム2年
//	高橋 直子	大学院博士前期課程工学専攻建築・デザインプログラム1年
//	伊藤 美佳	大学院博士前期課程工学専攻知能情報プログラム1年

役名	氏名	所属等
//	加藤 理恵	大学院博士前期課程工学専攻建築・デザインプログラム1年
//	石田亜希子	生命・応用化学科4年
//	跡見 美奈	電気・機械工学科4年
//	伊藤 篤之	電気・機械工学科4年
//	荒木 有美	物理工学科3年
//	太田由美子	物理工学科3年
//	菅井ゆか里	情報工学科3年
//	山本 伸一	情報工学科3年
//	奥村 直美	社会工学科3年
//	古川 美穂	創造工学教育課程3年
//	高山林太郎	生命・応用化学科2年
//	澤田 寿夫	物理工学科2年
//	犬飼 佳明	創造工学教育課程2年
//	田中 幸	生命・応用化学科1年
//	林口 里枝	物理工学科1年
//	水野 賢吾	創造工学教育課程1年
//	吉田 幸江	創造工学教育課程1年
監事	成瀬 哲也	社会工学科3年
//	山中 利夫	学務課長
顧問	小畠 誠	学長
//	井門 康司	理事

(※太字は新役員を示す)

2024 年度収支決算

2024 年度後援会 [一般会計] 収支決算書

●総括 収入総額 23,614,523 円① 支出総額 15,583,974 円② 差引残高 8,030,549 円 (①-②)

●収入の部

(単位:円)

項目	2024 年度予算	決 算	比較 増 減	備 考
前年度繰越金	継 越 金	8,314,352	8,314,352	0
会 費	大 学 院	3,035,000	3,090,000	55,000
	高度工学教育課程	12,810,000	11,949,000	▲ 861,000
	創造工学教育課程	280,000	252,000	▲ 28,000
	計	16,125,000	15,291,000	▲ 834,000
預 金	利 息	170	9,171	9,001
収 入	計	24,439,522	① 23,614,523	▲ 824,999

●支出の部

運 営 費	会 議 費	100,000	71,384	▲ 28,616
	後 援 会 職 員 給 与	1,330,000	1,173,834	▲ 156,166
	運 営 事 務 費	3,000,000	3,038,693	38,693
	計	4,430,000	4,283,911	▲ 146,089
学 生 生 活 事 業 費	学 科 交 流 会 費	1,750,000	1,320,639	▲ 429,361
	工 大 祭 援 助 費	3,200,000	3,287,674	87,674
	学 生 生 活 援 助 費	30,000	0	▲ 30,000
	課 外 活 動 援 助 費	3,700,000	3,565,900	▲ 134,100
	課 外 教 育 援 助 費	800,000	810,000	10,000
	就 職 ・ キャ リア 援 助 費	3,500,000	2,260,850	▲ 1,239,150
	医 療 援 助 ・ 見 舞 金	100,000	55,000	▲ 45,000
	計	13,080,000	11,300,063	▲ 1,779,937
支 出	計	17,510,000	15,583,974	▲ 1,926,026
予 備 費	計	6,929,522	0	6,929,522
合	計	24,439,522	② 15,583,974	8,855,548

2024 年度学生対策・援助基金 [特別会計] 収支決算書

●総 括 収入総額 8,653,314 円
支出総額 952,518 円
差引残高 7,700,796 円

●収入の部

(単位:円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	7,810,705
貸 与 者 か ら の 返 済 金	840,800
預 金 利 息	1,809
合 計	① 8,653,314

●支出の部

(単位:円)

科 目	金 額
新 規 融 資 金	951,750
運 営 費 (振込手数料)	768
合 計	② 952,518

2024 年度災害救助対策特別基金 [特別会計] 収支決算書

●総 括 収入総額 10,081,149 円
支出総額 0 円
差引残高 10,081,149 円

●収入の部

(単位:円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	10,079,453
預 金 利 息	1,696
合 計	① 10,081,149

●支出の部

(単位:円)

科 目	金 額
運 営 費 (振込手数料)	0
合 計	② 0

2025 年度収支予算

2025 年度後援会 [一般会計] 収支予算

●収入の部

単位：円

項目		2025 年度予算	2024 年度決算	比較 増 減	備 考
前 年 度 繰 越 金		8,030,549	8,314,352	▲ 283,803	
会 費	大 学 院	3,750,000	3,090,000	660,000	2025 年度加入目標数 大学院 750 名 高度工学教育課程及び 創造工学教育課程 920 名 (編入 10 名含む) 基幹工学教育課程 20 名
	高度工学教育課程 創造工学教育課程	12,810,000	11,949,000	861,000	
	基幹工学教育課程	280,000	252,000	28,000	
	小 計	16,840,000	15,291,000	1,549,000	
預 金 利 息		9,170	9,171	▲ 1	
合 計		24,879,719	23,614,523	1,265,196	

●支出の部

運 営 費	会 議 費	100,000	71,384	28,616	総会、役員会開催に係る経費
	後援会職員給与	1,370,000	1,173,834	196,166	
	運 営 事 務 費	2,500,000	3,038,693	▲ 538,693	総会通知郵送費、後援会だより作成・郵送費用等
	計	3,970,000	4,283,911	▲ 313,911	
学 生 生 活 費	学 科 交 流 会 費	1,760,000	1,320,639	439,361	新入生の交流に係る経費 ※ 2026 年度入学者分 (2025 年度入学生数を基に予算を試算)
	工 大 祭 援 助 費	1,200,000	3,287,674	▲ 2,087,674	工大祭の企画等に係る経費援助
	学 生 生 活 援 助 費	2,030,000	0	2,030,000	ボランティア活動に係る経費、生協食堂での学生支援費
	課 外 活 動 援 助 費	3,700,000	3,565,900	134,100	課外活動に係る旅費等の援助
	課 外 教 育 援 助 費	800,000	810,000	▲ 10,000	学生表彰に係る経費等
	就 職 ・ キ ャ リ ア 援 助 費	3,500,000	2,260,850	1,239,150	・ TOEIC 受験料援助 ・ TOEIC 受験対策講座 ・ 就職対策講座
	医 療 援 助 ・ 見 舞 金	100,000	55,000	45,000	
	計	13,090,000	11,300,063	1,789,937	
小 計		17,060,000	15,583,974	1,476,026	
予 備 費		7,819,719	0	7,819,719	
合 計		24,879,719	15,583,974	9,295,745	

2025 年度学生対策・援助基金 [特別会計] 予算

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	7,700,796
預 金 利 息	1,800
合 計	7,702,596

2025 年度災害救助対策特別基金 [特別会計] 予算

●収入の部

(単位：円)

科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	10,081,149
預 金 利 息	1,600
合 計	10,082,749

後援会による各種支援事業の報告

1.就職・キャリア形成支援

後援会では本学学生の就職及びキャリア形成支援のため、TOEIC受験料援助を行っており、2024年度は延べ1,236名の支援を行いました。TOEICは大学院入試の英語試験として使用されており、就職活動でも利用されています。

この他、名古屋工業大学では、学生向け、後援会の皆様向けに各種セミナーを実施しています。(8ページ参照)

2.課外活動支援

後援会では、課外活動への援助を行っています。大会の参加費や交通費の一部援助、学外で練習を行う必要のある課外活動団体への経費の一部援助等です。



3.学生表彰支援

名古屋工業大学では、優秀な学生を表彰する「学生表彰」を実施しており、後援会が支援を行っています。後援会が支援を行っているのは、課外活動における成績優秀者及び名古屋工業大学の名声を高めた学生表彰への支援です。

2024年度学生表彰では、学長表彰として、課外活動以外で特に顕著な実績を上げた2団体1個人、課外活動の全国大会で入賞した1団体1個人に、また、副学長表彰として、課外活動の地区大会等で優勝または準優勝した9名と4団体にQUOカードを贈りました。

〈主な実績〉 馬術部	全日本学生馬術大会2024	MD障害馬術競技 個人 第5位入賞
ボート部	第51回全日本大学ローイング選手権大会	女子エイト 第6位入賞
	第53回中部学生新人競漕大会	男子エイト 第1位
	第56回中部学生選手権競漕大会	女子シングルスカル 第1位
	第53回中部学生新人競漕大会	女子シングルスカル 第1位
弓道部	第60回東海学生弓道新人戦	男子団体 準優勝
	第67回東海学生弓道選手権大会	男子団体 優勝
ヨット部	2024年度秋季中部学生ヨット選手権大会	団体総合 優勝
	2024年度中部学生ヨット個人選手権大会	470クラス 個人 第1位
	2024年度中部学生ヨット個人選手権大会	470クラス 個人 第2位
自動車部	全中部学生ジムカーナ選手権大会	団体男子 準優勝
水泳部	第73回東海地区国立大学体育大会	男子400m個人メドレー 第1位
	//	男子200mバタフライ 第1位
陸上部	//	男子1500m 第2位
	//	男子三段跳 第2位
	//	男子110mH 第2位
硬式テニス部	第27回東海学生チャレンジテニストーナメント大会	男子ダブルス 優勝

4.医療費援助

後援会では、正規の授業や課外活動中に傷害を負った学生に対する支援を行っています。

5.学生生活支援

後援会では学生生活の支援を行っています。2025年度は11月に期間限定で生協食堂にて「後援会カレー」を小中サイズ100円、大サイズを200円で7000食以上提供され、また「後援会カレー」にセットで付けられるサラダも100円で提供し、大変好評を得ました。



後援会活動報告

役員会

2025年7月29日午前に大学内会議室にて開催し、後援会保護者役員24名の方々にご出席いただきました。定期総会に先立ち、新役員の改選、ならびに昨年度収支決算報告及び同監査報告等を行い、役員会としての承認をいただきました。

また、役員と教員及び職員との意見交換等の時間を設け、貴重なご意見を伺える場となりました。

定期総会

2025年7月29日13時よりNITech Hallにて開催し、約250名の会員の方々に出席していただき、滞りなく会を終えられたことをここに御礼申し上げます。

学科・課程・プログラム別懇談会

定期総会後、所属する学科・課程・プログラム別に、後援会の皆様と担当教員を交えた懇談会を実施しました。普段お子様がどのような環境でどのようなことを学んでいるのかをお知りになる、よい機会になったのではないかと思います。

後援会の皆様向け個別相談会

懇談会と並行して、個別相談会を実施しました。「学生生活」「就職・キャリア」等の相談ブース別に、大学教職員が個々の相談に対応しました。

第 63 回工大祭の報告

第 63 回工大祭の開催にあたり、名古屋工業会後援会の皆様には本年も多大なるご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

本年度も昨年に続き、自由度の高い形で工大祭を実施することができ、キャンパス全体が明るいエネルギーに満ちた二日間となりました。

今年のテーマは「be uNITed」。学科や学年、来場者・学生・地域の方々といった多様な“つながり”をひとつに束ね、名工大らしい一体感を表現したいという想いから掲げたものです。テーマの通り、ステージ企画や模擬店、室内企画などのエリアでも多くの方々が交流を楽しみ、昨年度以上に広がりのある工大祭をお届けできたと感じております。

来場者の皆様の笑顔や温かい声掛けをいただきたびに、この一年間の準備の苦労が報われる思いでした。また、運営に携わった実行委員一人ひとりも、互いに支え合いながら工大祭を形作っていく過程で大きく成長できたと実感しております。

後援会からご支援いただいた援助金につきましては、第 63 回工大祭をより良いものとするため、企画運営や安全確保の面で大切に活用させていただきました。

来年度の情勢は依然として不透明ではありますが、工大祭はさらなる飛躍を目指し、結束力と創意工夫に満ちた後輩たちが新たな魅力を創り上げてくれると確信しております。

今後とも工大祭への温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

名古屋工業大学 第 63 回工大祭実行委員会委員長

齊木 理途



2025 年度 就職・キャリア形成事業

就職・キャリア支援事業については、工学教育総合センター キャリアサポートオフィスと学生生活課が連携し、学生自身が納得できる進路決定の一助となるよう、就職相談の実施、企業研究セミナー等就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催、インターンシップ事業、「名工大キャリアナビ（求人票閲覧システム）」による求人情報の提供等、就職・キャリア形成について、下記の事業を実施しています。

2025 年度 就職・キャリア形成事業実施計画

■キャリア形成ガイダンス実施計画

開催日（予定）	内容	実施方法
4月	前期キャリアキックオフガイダンス 就職活動全般とインターンシップ等に関する説明をします。	オンライン
5月上旬～	仕事研究＆インターンシップ準備対策 自己分析・文章作成・企業研究・面接対策	moodle 配信
5月中旬に8日間	仕事研究＆インターンシップ合同説明会 大手・有力企業及び本学学生の関心が高い企業の仕事研究会やインターンシップの説明	オンラインと対面
9月	夏季企業研究セミナー 本学学生への採用意欲が高い企業を招へいし、学生に企業研究の機会を提供	対面
10月	後期キャリアキックオフガイダンス 本選考にむけての準備、エントリーシートの書き方、面接対策	オンライン moodle 配信
10～11月	業界研究セミナー 本学学生への採用意欲が高い業界・企業を招へいし、学生に業界・企業研究の機会を提供 160社以上が参加	対面
11月	リケ女子会 女子学生のキャリア形成を目的とし、企業の女性社員と交流する機会を提供。 企画・運営は学生団体彩綾（さや）が担当。	対面
2月予定	春季業界研究セミナー 本学学生への採用意欲が高い企業を招へいし、学生に企業研究の機会を提供	対面（予定）

2026 年度も同様なガイダンス・セミナーを実施予定

上記、就職・キャリアに関する各種ガイダンス・セミナーの開催や就職相談をはじめとする各種就職支援、インターンシップ事業、進路状況の把握等の業務は、19号館 1階学生センター（10番窓口）の学生生活課所属就職・キャリア支援係が行っています。

1. 就職相談

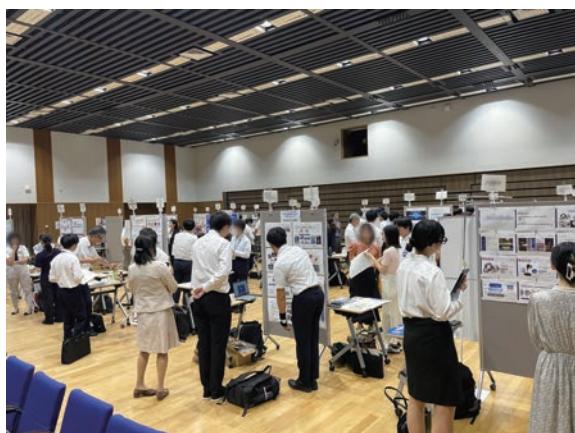
専属の就職相談員を配置し、19号館 1階の就職相談室で実施しています。

2. その他の就職支援

自由応募に関する求人情報（求人票・会社説明会案内等）は「名工大キャリアナビ」により閲覧可能です。また、就職に関する図書の閲覧及び貸出（図書館）を行っています。

また、学生が学内でも落ち着いて Web 面接に対応できるよう、Web 面接ブースを 2 台設置しています。

▼企業研究セミナーの様子



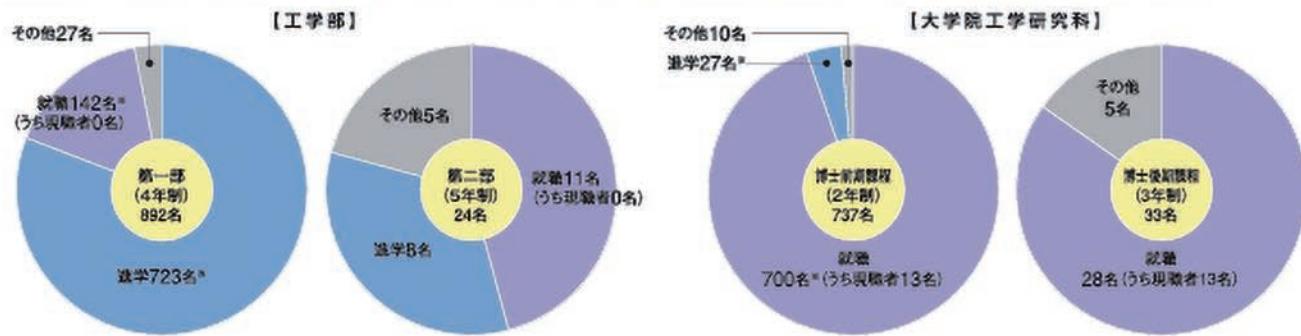
▼リケ女子会の様子



2024 年度 進路状況

進学・就職状況

**学部一部約81.1%が進学。
就職率は学部一部98.6%、学部二部91.7%、博士前期99.6%、博士後期96.6%。**



*就職選考者2名(第一部1名、博士前期課程1名)を含む

主な就職先

就職先	学部	大	合	就職先	学部	大	合	就職先	学部	大	合	就職先	学部	大	合
	部	学	計		部	学	計		部	学	計		部	学	計
トヨタ自動車	3	59	62	本田技研工業	2	4	6	NTTドコモ	0	3	3	アクセンチュア	0	2	2
デンソー	0	55	55	ヤマハ発動機	1	5	6	関西電力	1	2	3	アビ	0	2	2
豊田自動織機	0	27	27	清水建設	1	4	5	KDDI	0	3	3	アピームコンサルティング	0	2	2
アイシン	2	23	25	西日本電信電話	1	4	5	JSR	0	3	3	インビリティー	2	0	2
中部電力パワーグリッド	2	18	20	日本特殊陶業	0	5	5	ジェイテクト	2	1	3	EIZO	0	2	2
日本ガイシ	0	17	17	富士通	0	5	5	住友電気工業	0	3	3	NECソリューションイノベータ	0	2	2
プラザー工業	0	14	14	LIXIL	1	4	5	ソニーモンタクソリューションズ	0	3	3	オリエンタルコンサルタンツ	0	2	2
東邦ガス	0	12	12	アドヴィックス	0	4	4	大成建設	2	1	3	京セラ	0	2	2
中部電力	0	11	11	伊藤忠テクノソリューションズ	0	4	4	竹本油脂	0	3	3	KHネオケム	0	2	2
トヨタ車体	4	6	10	SCSK	0	4	4	デンソーテクノ	1	2	3	CKD	2	0	2
パナソニック	1	9	10	鹿島建設	1	3	4	東海理化電機製作所	1	2	3	sky	1	1	2
住友電装	6	3	9	川崎重工業	1	3	4	東洋紡	0	3	3	住友重機械工業	0	2	2
竹中工務店	2	7	9	東海旅客鉄道	0	4	4	名古屋鉄道	0	3	3	住友ベーライト	0	2	2
三菱重工業	1	8	9	名古屋工業大学	0	4	4	日産自動車	0	3	3	セイコーブソン	0	2	2
村田製作所	0	9	9	パナソニック インダストリー	0	4	4	日東電工	0	3	3	全日本空輸	1	1	2
イビデン	2	6	8	日立製作所	0	4	4	パナソニックエナジー	0	3	3	ソフトバンク	0	2	2
三菱電機	0	8	8	リンナイ	1	3	4	パナソニックホールディングス	0	3	3	ダイキン工業	1	1	2
アピームシステムズ	0	7	7	アイヴィス	1	2	3	東日本電信電話	0	3	3	大同特殊鋼	0	2	2
名古屋市	7	0	7	愛知県	1	2	3	フジタ	0	3	3	中部精機	1	1	2
野村総合研究所	0	7	7	愛知時計電機	3	0	3	プライムアースEVナナー	1	2	3	中部電力ミライズ	0	2	2
大林組	4	2	6	朝日インテック	0	3	3	文化財建造物保存技術協会	1	2	3	中菱エンジニアリング	1	1	2
豊田合成	0	6	6	AGC	0	3	3	マキタ	1	2	3	TSUCHIYA	0	2	2
トヨタシステムズ	2	4	6	NDS	3	0	3	三菱自動車工業	2	1	3	東亞合成	0	2	2
トヨタ紡織	1	5	6	NTTデータ	0	3	3	ヤマザキマザック	1	2	3	東急建設	0	2	2

(単位:人)

名古屋工業大学における経済的支援について

1. 名古屋工業大学の奨学金制度について

奨学金制度とは、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資の給付や貸与を行い、学業に専念できるよう設けられた制度です。本学の学生のみを対象とし、設けられた代表的な奨学金制度は、下表のとおりです。

奨学金制度の名称	制度の内容等
名古屋工業大学ホシザキ奨学金	<p>【対象者】学部3年次（基幹工学は4年次）、博士前期課程第1年次に所属する外国人留学生を除いた学生で、学部生にあっては大学院に進学を希望する学生</p> <p>【支援額】年額168万円を原則2年間支給する。</p> <p>【募集時期】前年度12月</p> <p>【2025年採用実績】学部10名、博士前期課程26名 合計36名</p>
名古屋工業大学こどもみらい奨学金	<p>【対象者】本学学部を卒業し、大学院博士前期課程1年次に進学する学生</p> <p>【支援額】年額120万円を原則2年間支給する。</p> <p>【募集時期】前年度12月頃</p> <p>【2025年採用実績】博士前期課程3名</p>
名古屋工業大学ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン奨学金	<p>【対象者】学部最終年度に在籍し、研究室に配属されている学生（外国人留学生を除く）</p> <p>【支援額】年額50万円を原則1年間支給する。</p>
名工大DC・準DC制度 (名古屋工業大学博士後期課程学生全力サポートプラン)	<p>【内容】博士後期課程学生のうち、日本学術振興会の特別研究員に申請し、一定以上の結果を得たものの不採用となった学生に対し、経済的な支援をする。</p> <p>【支援額】名工大DC：年額80万円、名工大準DC：年額40万円</p>

その他にも本学の学生のみを対象とした奨学金制度があります。また、民間奨学団体や地方公共団体が募集する奨学金制度もあります。

(参考①) 名古屋工業大学 公式サイト

- 「経済的支援」ページ



<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/>

- 「奨学金・授業料免除申請受付状況」ページ



<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>

2. 高等教育の修学支援新制度について（学部学生向け）

2020年度から、文部科学省は学部学生を対象とした「高等教育の修学支援新制度」を対象機関として認定された大学のみにて実施しています。

本学は本年度に引き続き2026年度も対象機関として認定されましたので、支援対象要件を満たす場合は、日本学生支援機構の給付型奨学金の支給と授業料の減免措置を受けることができます。

本制度の概要・支援要件対象等については、文部科学省及び日本学生支援機構のWEBページでご確認ください。

(参考②) 日本学生支援機構：「奨学金」ページ



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

（「関連機関リンク：文部科学省」<https://www.mext.go.jp/>）

3. 大学制度の修学支援（授業料免除申請）について

大学独自で実施している授業料免除申請制度は、経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生を主に対象として、選考の上、その学期の授業料の全額、半額又は一部を免除する制度です。授業料免除の申請は、1年を前期と後期に分け、その期ごとに選考を行います。

学部・大学院ともに実施している制度ですが、学部学生については、対象者は高等教育の修学支援新制度の対象外の学生（留学生・家計基準外・「大学等への入学時期に係る基準を満たさない者」等）、支援区分外または支援区分が第3区分（第3区分の学生については基幹工学教育課程の自宅外生を除く）、です。支援区分が第1区分、第2区分または多子世帯に該当する場合は、対象となりませんので、ご注意ください。

(参考③) 申請スケジュール：日本学生支援機構奨学金、授業料減免等

種類	申請時期	備考
高等教育の修学支援新制度 (給付奨学金+授業料減免)	年2回(4月、9月頃)	家計急変時は随時 申請期限：急変事由発生から3か月以内
貸与奨学金	年2回(4月、9月頃)	家計急変時は随時 申請期限：急変事由発生から12か月以内
授業料免除申請(大学制度)	年2回(3月、9月頃)	前期・後期それぞれ申請が必要

4. 日本学生支援機構貸与型奨学金

従来からの日本学生支援機構が実施する貸与型奨学金も引き続き利用できます。

なお、給付型奨学金と貸与型奨学金で申請要件が異なります。

問合せ先 学生生活課 奨学支援係 19号館1階 学生センター6番窓口

shogaku@adm.nitech.ac.jp

「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」について

本学では、入学から卒業まで安心して学生生活を送ることができるよう「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」制度を導入しています。

この保険は、大学の教育・研究活動に沿った補償制度であり、学生は全員加入することになっています。事故発生の際は、速やかに学生センター6番窓口に届け出てください。発生時の連絡が遅れると、保険金を請求できないことがあります。補償の対象になるか迷った際も、まずは6番窓口に相談してください。

問合せ先 学生生活課 奨学支援係 19号館1階 学生センター6番窓口

shogaku@adm.nitech.ac.jp

名古屋工業大学学生なんでも相談室

学生なんでも相談室では、学生からの御相談だけでなく御家族からの御相談にも対応しています。

学生生活に関する御心配事等お困りのことがありましたら御相談ください。

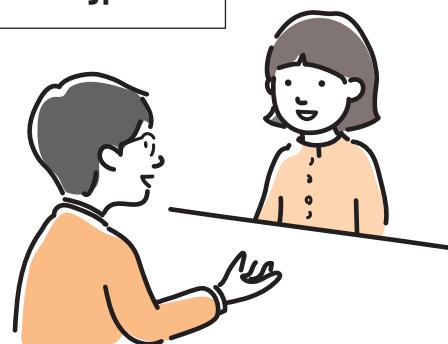
名古屋工業大学学生なんでも相談室
19号館1階 学生センター5番
相談受付 8:40～17:10
(土・日・祝日・年末年始、その他大学が定めた休日を除く)
TEL:052-735-5068/5599
E-mail:soudan@adm.nitech.ac.jp



学生なんでも相談室



障害学生支援



後援会会則

(平成25年7月31日総会承認)

第1条 本会は、名古屋工業大学後援会と称する。

第2条 本会の事務所は名古屋工業大学（以下「名工大」という。）内に置き、後援会職員が主にその業務を行う。

第3条 本会は名工大の教育に協力し、学生生活向上のために大学と連携して学生を援助することを目的とする。

第4条 本会は名工大の正規の学生の父母等（保護者）をもって会員とする。

第5条 本会に次の役員をおく。

会長	1名
副会長	2名
幹事	25名
常任幹事	5名
監事	2名
顧問	2名

第6条 会長、副会長、幹事及び監事の選出は、常任幹事が原案を作成し役員会の承認を受け、総会で決定する。

2 顧問は名工大学長、理事の中から1名を委嘱する。

3 常任幹事のうち3名は、名工大副学長、事務局次長及び学生生活課長を委嘱する。

4 監事のうち1名は、名工大学務課長を委嘱する。

第7条 会長は、会務を総理し本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の委嘱を受けて会務を行う。

4 常任幹事は、会長の委嘱を受けて会務の連絡と推進にあたる。

5 監事は、会長の委嘱を受けて会計を監査する。

第8条 役員の任期は1年とする。但し再任を妨げない。

第9条 定期総会は毎年1回7月末までに会長が招集し、役員の承認、事業及び会計報告を行い、その他会の重要事項等を議決する。

2 臨時総会は必要に応じ会長が招集する。

3 役員会は必要あるとき会長がこれを招集し会務を行う。

第10条 本会の経費は会費をもってこれに充てる。会費は学部14,000円（第3年次編入学者は、7,000円）、大学院5,000円とし、入会時に一括してこれを納入する。

2 大学院博士前期課程での会費は、在学期間が連続している場合に限り、博士後期課程ではこれを徴収しない。

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会の総会には役員会の承認があれば、学生代表を出席させることができる。

附 則

この会則は、昭和36年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成25年8月1日から施行する。

学生対策・援助基金[特別会計]の運用方針

名古屋工業大学後援会(以下「本会」という。)の「学生対策・援助基金」の運用については次のとおりとする。

I 目的

「学生対策・援助基金」は、名古屋工業大学の学生で、経済的理由により学費及び留学費用の調達が困難な者に対し、学費及び留学費用相当額を融資することにより修学を援助すること及び災害等緊急時の援助を目的とする。

II 学費及び留学費用の融資

1. 融資額及び融資総額

融資額は、入学料、授業料(年額の2分の1)の額、又は留学費用とする。

留学費用は1名あたり25万円を上限とする。

融資総額は、「学生対策・援助基金」の範囲内とする。

2. 融資の条件

融資期間 融資日から2年以内とする。ただし学籍を離れるまでに全額を返済するものとする。

返済方法 一括返済又は月割返済とし、月割返済は月4,000円以上とする。

利子等 無利息、無担保とする。
原則として、未返済のある者に対しての融資は行わない。

学費の融資を受けた者は、その全額を直ちに名古屋工業大学財務課に入學料又は授業料として納入し、納入後はその旨本会の事務担当者に連絡するものとする。留学費用の融資を受ける者は、大学が承認した留学の場合を除き、事前に留学を証明できるもの等を本会の事務担当者に提出するものとする。

(平成28年8月1日定期総会決定)

3. 融資の申請方法

融資の申請方法は別に定める。

4. 融資の審査基準及び審査

融資の審査基準は、独立行政法人日本学生支援機構の奨学生推薦基準に準じる。その際、次の事項を考慮する。

- ア 入学料又は授業料の免除申請者で、その許可が半額免除及び不許可であった者から順次決定する。
- イ 本会会員の学生を優先させる。
具体的な審査及びこれに関する事務については、名古屋工業大学事務局次長(本会常任幹事)に一任する。

III 特別援助

会長は、災害等が発生し、緊急に救助活動が必要と認めたときは、一時立替え、又は支出することができる。

附 則

本運用方針は、昭和54年5月31日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成21年5月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成22年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成23年4月1日から適用する。

附 則

本運用方針は、平成28年8月1日から適用する。

(平成20年7月4日総会承認)

医療援助・見舞金支出基準

名古屋工業大学後援会の予算項目のうち「医療援助・見舞金」の支出については、この基準を適用する。

なお、医療援助・見舞金については、本会会員の学生のみ適用する。

1. 医療援助

正課教育及び本学公認の正課外活動中に発生した傷病又は原因がこれに起因すると認められるものについては、次の各号による。

一、同一傷病1件の医療費のうち個人負担の合計額が2万円までの場合

全額

二、前号の額を超える場合超えた額の2分の1を加算する。
ただし、最高5万円までとする。

三、医療援助を受けようとする者は、所定の用紙(医療援助申請書)に所要事項を記入のうえ担当教員等の承認印を受け、これに医療機関が発行する医療費の領収書を添付して、後援会あて申請する。

2. 見舞金

事実の認定に基づいて次の各号による。

- 一、死 亡 香 典 3万円
- 二、入 院 見舞金 5千円

附 則

この支出基準は、平成9年6月10日から適用する。

附 則(抄)

この支出基準は、平成20年7月4日から適用する。

名古屋工業大学後援会のご案内

① 概要

当会は1961年(昭和36年)から現在の形になり、名工大の教育に協力し、学生生活向上のために学生を援助することを目的とし、精力的に活動しています。本会の幅広い学生援助事業は、名工大の教育に対して大きく貢献しており、その実績は学内外から高く評価されています。これらの活動に必要な運営資金は、在学者のご家族からの会費(入会時1回のみ)によって賄われています。

② 主な活動内容

- 就職・キャリア形成活動への支援
- 課外活動への支援
- 工大祭等学生行事への支援
- 課外活動での成績優秀者又は大学の名声を高めた学生表彰への支援
- 入学料又は授業料免除不許可者への融資
- 遠隔地での事故救助費の援助
- 正課教育・課外活動中の疾病の医療費補助
- 見舞金の給付
- 会誌「後援会だより」の刊行
- 役員会・定期総会の開催

※会誌や、定期総会等の通知は、学生が入学後登録する父母等氏名や父母等住所を活用します。

③ 入会の手続き

これらの活動に必要な運営資金は、会費によって賄われています。会費は、入学時一回限りです。未加入の方はいつでも加入を受付けておりますので、是非ご加入いただきますようお願い申し上げます。入会手続きは以下のとおりです。

【手続方法】

入学後に加入される場合は、以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

☆重複入金にご注意ください!

例年、入学時の「諸納金」と重複して、4月以降に再度振り込まれる例があります。

【会費(入会・進学時各1回のみ)】

- ・学部 14,000円 (第3年次編入学者 7,000円)
- ・博士前期 5,000円 (学部からの進学者も加入が必要)
- ・博士後期 5,000円 (博士前期時に加入した方は不要。ただし、在籍期間が連続している場合に限る)

④ お問い合わせ

名古屋工業大学後援会(名古屋工業大学19号館1階 学生センター4番窓口内)にお問い合わせください。

住 所：466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町
電話番号：052-735-5553 FAX 052-735-5080



●この印刷物は再生紙を使用しています。
●この印刷物は環境に配慮したベジタブルインキを使用しております。